

国際交流委員会報告

SUGIYAMA Hiromi

杉山 裕美

放射線影響研究所



松坂 方士

弘前大学医学部附属病院

伊藤 ゆり

大阪医科薬科大学

中田 佳世

大阪国際がんセンター

2022年9月に、伊藤ゆり先生から委員長を交代いたしました。国際交流員会では、今後も伊藤先生にも委員としてお力添えいただきながら、会員の皆様と海外のがん登録や研究などの情報を共有し、JACRが国際的協調性をもって世界に貢献できるよう活動していきたいと思えます。

2022年11月8-10日において、国際がん登録協議会（IACR：International Association of Cancer Registries）バーチャル学術集會が行われました。107か国878名の参加があり、174演題から52口演発表、100を超えるポスター発表がありました。この学術集會をもって、松田智大先生（国立がん研究センター）がIACRの理事（2016年から次期理事長1年、理事長2年、元理事長2年+COVID-19のパンデミックの影響により1年延長）としての任期を終えられました。世界のがん登録への多大なるご貢献に敬意を表するとともに、JACRへも今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。そして今期から、私がIACRアジア代表として務めることとなりました。アジア諸国では、中国をはじめ、多くの国や地域で住民ベースがん登録が立ち上がっています。特にインドのThe Global Initiatives for Cancer RegistriesのムンバイHubは、近隣諸国の住民ベースがん登録の立ち上げから報告書作成まで、実務的そして研究的に支援しています。多くのアジアの国のがん登録から積み上げたデータに基づく研究成果が出てくる時代になりました。日本は世界と協調してきた実績がありますので、これからもがん登録の運用技術やがん登録を利用した研究成果を発信していくことが期待されています。2023年のIACR学術集會は欧州がん登録ネットワーク（ENCR）との共同開催で2023年秋頃に実地開催予定です。皆様奮ってご参加ください。

J-CIP 委員会報告

ITO Yuri

伊藤 ゆり

大阪医科薬科大学



伊藤 秀美

愛知県がんセンター

片山 佳代子

群馬大学

阪口 昌彦

大阪電気通信大学

猿木 信裕

群馬県衛生環境研究所

杉山 裕美

放射線影響研究所

田淵 健

東京都立駒込病院

寺本 典弘

四国がんセンター

中田 佳世

大阪国際がんセンター

増田 昌人

琉球大学病院がんセンター

松坂 方士

弘前大学医学部附属病院

山下 夏美

四国がんセンター

J-CIP 委員会は令和4年度より新メンバーも加わり、新体制となりました。引き続きどうぞよろしくお願ひします。

J-CIP Localに関連して東京都中央区社会貢献活動事業を始め、より地域密着型の活動が始まっています。中央区の住民や企業と協働し、「区民への「正しいがん情報」を発信するための「がん情報サイト」制作事業」を行っています。東京都のがんデータを関係者で見える化する作業が始まります。Localで紹介している県の事例がまだ少ないため、会員の皆様の地域でがん情報発信をされている方はぜひご紹介をお願いします。

J-CIP Empowerにおいては、地域間の罹患率の格差などを分析する便利な分析ツールの使い方動画や罹患率の年次推移を分析するJoinpoint解析の動画が紹介されています（http://www.jacr.info/j-cip/empower/analysis_tool.html）。

第4期がん対策推進基本計画が令和4年度内に確定し、それを受けて各都道府県の計画を検討していく段階にありますので、行政の担当者や都道府県がん対策推進協議会の方など、がん登録データを活用してがん対策を行いたいと思っている方への支援を積極的に行っていきたいと思ひます。

J-CIP Globalにおいては開始から5年分のデータが利用可能となり、活用の段階に入った全国がん登録情報をこれまでの地域がん登録情報と合わせて、わかりやすい統計情報として発信していきたいと思ひます。